

置賜定住自立圏 第2次共生ビジョン

令和6年3月 策定

令和7年8月 改定

米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町

目次

1 定住自立圏第2次共生ビジョンについて

(1) 定住自立圏共生ビジョンの目的	1
(2) 定住自立圏の名称	1
(3) 定住自立圏を形成する市町の名称	1
(4) 計画期間	1
(5) これまでの経緯	1

2 圏域の概況

(1) 地勢	2
(2) 歴史的なつながり	2
(3) 各市町の概況	3
(4) 圏域の人口	7

3 圏域の将来像

(1) 圏域の将来像	11
(2) 圏域の将来展望人口	11

4 具体的な取組

(1) 生活機能の強化に係る政策分野	14
(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	33
(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	38

1 定住自立圏第2次共生ビジョンについて

(1) 定住自立圏共生ビジョンの目的

定住自立圏とは、「中心市」と「近隣市町村」が連携して、都市圏への人口流出を防ぐとともに、定住を進めるために形成する圏域のことです。圏域内の各市町村は、独自性を互いに尊重しながら、連携・役割分担して、地域の活性化に向けた取組を推進することで、定住に向けた機能の充実や地域の魅力向上を目指します。

本共生ビジョンは、置賜地域における定住自立圏の将来像やその実現のために、圏域内の市町が連携して推進する具体的な取組内容を示すものです。

(2) 定住自立圏の名称

置賜定住自立圏

(3) 定住自立圏を形成する市町の名称

米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町

(4) 計画期間

第2次共生ビジョンの計画期間は、令和6年度から令和10年度までの5年間とし、必要に応じて所要の変更を行います。

(5) これまでの経緯

平成30年2月 米沢市が「中心市宣言」を実施

平成30年6月 米沢市が各市町との間で「定住自立圏形成協定」を締結

平成31年3月 置賜定住自立圏共生ビジョンを策定

(計画期間：令和元年度～令和5年度)

令和6年3月 置賜定住自立圏第2次共生ビジョンを策定

(計画期間：令和6年度～令和10年度)

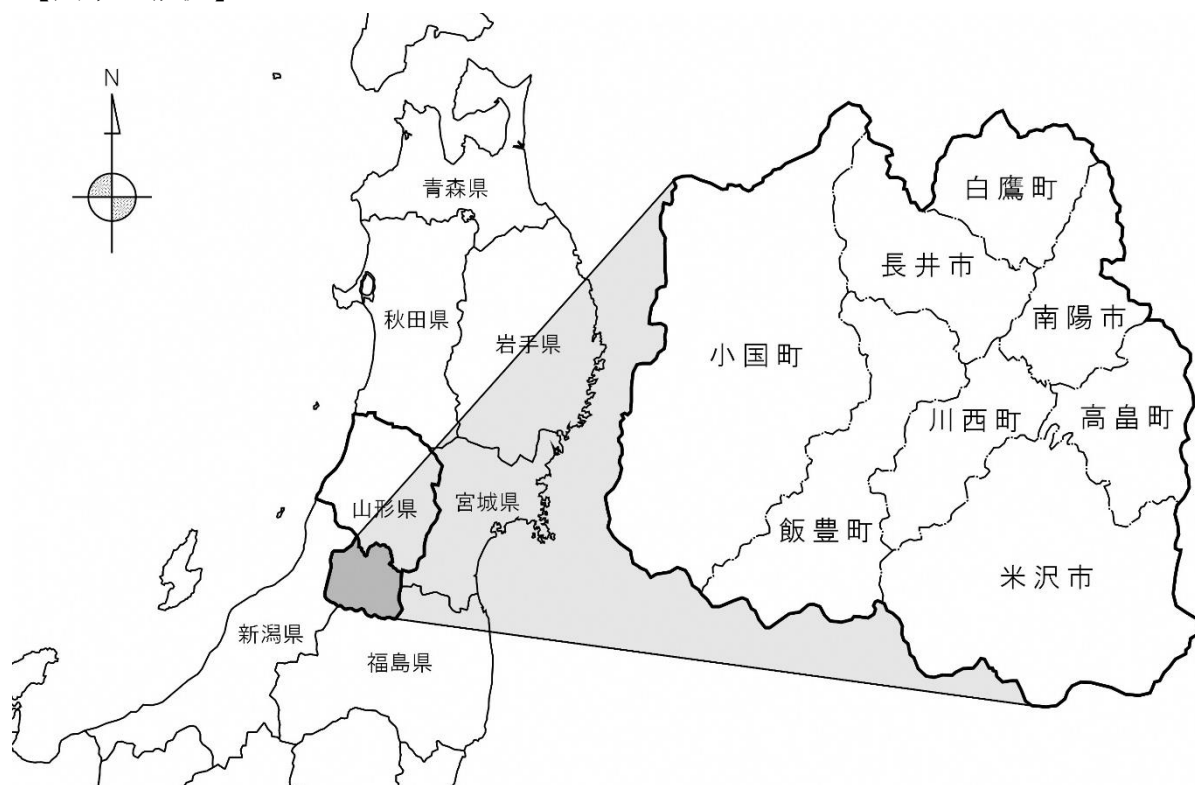
2 圏域の概況

(1) 地勢

置賜地域は、山形県の南部に位置し、米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町の3市5町から構成される、東西最大56km、南北最大57km、総面積2,495.24km²に及ぶ地域です。南方は吾妻山地・飯豊山地を境に福島県及び新潟県に、東方は奥羽山脈を境に宮城県及び福島県に、北方は朝日山地・白鷹山を境に山形県村山地域に、西方は朝日山地を境に新潟県に接しています。

米沢、長井、小国の各盆地からなる地形環境は、圏域の77.1%を山林が占め、磐梯朝日国立公園や県南県立自然公園などの優れた景観に赤湯・小野川・白布といった多様な温泉、四季折々の自然風景や独特の食文化を生み出しています。明治時代、英国の女性旅行家イザベラ・バードがこの地を訪れたとき、その実り豊かな大地と人情の温かさから“東洋のアルカディア（理想郷）”と称したほどです。

【圏域の概況】

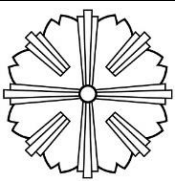


(2) 歴史的なつながり

置賜地域は、明治の市制・町村制の施行や昭和の合併などを経て、現在の3市5町の体制になりました。この地域は、古代から置賜郡として現在とほぼ同じ範囲が郡域となっており、中世の長井氏・伊達氏・蒲生氏の支配を経て、江戸時代には大部分が米沢藩上杉家の領地となりました。米沢藩制時代には、越後街道をはじめとした陸上交通と最上川舟運を通じた水上交通の発達によって地域内や全国とも広域的に結びつき、その中で独自の産業や文化を発展させてきました。このため、地域内には米沢藩や上杉家にまつわる文化財が多く存在するなど、歴史的・文化的なつながりを有しています。

(3) 各市町の概況

【出典】人口：令和2年国勢調査、面積：令和5年全国都道府県市区町村別面積調

	米沢市 人口：81,252 人 面積：548.51 km²	【特産品】 舘山りんご、米沢牛、米沢鯉、地酒、 米沢らーめん、うこぎ、雪菜、 小野川豆もやし、米沢織、笹野一刀彫 【観光施設】 上杉神社、上杉家廟所、上杉記念館、 米沢市上杉博物館、道の駅米沢、 道の駅田沢、旧米沢高等工業学校本館、 米沢八湯、天元台高原 【主な催し】 米沢上杉まつり、なせばなる秋まつり、 上杉雪灯籠まつり、米沢牛肉まつり、 小野川温泉ほたるまつり、愛宕の火祭り、 よねざわ大花火大会、 最上川源流よねざわ紅花まつり 【主な産業】 製造業（情報通信、電子部品、電気機械）  米沢牛 上杉神社 米沢上杉まつり
米沢市は、山形県の母なる川「最上川」の源である吾妻連峰の裾野に広がる米沢盆地に位置し、福島県と県境を接しています。 歴史的には伊達氏、上杉氏の城下町として発展し、明治22年4月1日に日本で最初に市制を施行した31市の中の一つです。 交通面では、山形新幹線、奥羽本線、米坂線が通るほか、平成29年に東北中央自動車道福島～米沢間が開通したことで、山形県の南の玄関口としての役割が期待されています。 米沢八幡原中核工業団地を有し、東北有数の製造品出荷額を誇る工業のまちという側面に加え、市内には山形大学工学部、山形県立米沢栄養大学、山形県立米沢女子短期大学の3つの大学があり、学園都市としての側面も有しています。		

	長井市 人口：26,543 人 面積：214.67 km²	【特産品】 米沢牛、天然水、馬肉ラーメン、行者菜、伊佐沢すいか、ホップ、けん玉 【観光施設】 あやめ公園、白つつじ公園、長井ダムながい百秋湖、伊佐沢の久保桜、草岡の大明神桜、道の駅 川のみなと長井、古代の丘資料館、文教の杜、旧長井小学校第一校舎 【主な催し】 ながい黒獅子まつり、長井あやめまつり、長井水まつり・最上川大花火大会、長井1000人いも煮会、長井マラソン大会 【主な産業】 製造業（電子部品、金属製品、生産用機械）
長井市は、東部には出羽丘陵地帯、西部には朝日山系の険しい山岳地帯、南部に長井盆地が広がる緑豊かなまちです。 長井の地名は「水の集まる所」に由来し、江戸時代には最上川上流部の舟運の拠点となる商業都市として発展しました。今も市内に残る町場景観は、平成30年に国の重要文化的景観に選定されています。 大正時代に開通した国鉄長井線は、現在は山形鉄道フラワー長井線として運行し、令和5年に全線開通100周年を迎えました。 昭和期の積極的な企業誘致の結果、企業城下町として発展したものづくりのまちであり、現在でも金属加工を中心とする製造業が主要産業になっています。		



けん玉



あやめ公園



ながい黒獅子まつり

	南陽市 人口：30,420 人 面積：160.52 km²	【特産品】 さくらんぼ、りんご、ぶどう、ラ・フランス、ワイン、清酒、ラーメン、おかひじき、青芋織り 【観光施設】 赤湯温泉、熊野大社、南陽スカイパーク、烏帽子山公園、双松公園、稲荷森古墳、結城豊太郎記念館、夕鶴の里資料館 【主な催し】 赤湯温泉桜まつり、南陽のバラまつり、南陽の菊まつり、赤湯温泉ふるさとまつり、北条郷熊野の夏祭り、ワインフェスティバル、スカイフェスティバル 【主な産業】 製造業（電気機械、生産用機械）、農業（果樹）  ワイン  赤湯温泉  南陽の菊まつり
南陽市は、東に奥羽山脈をひかえ、南から西にかけて吾妻山系と飯豊山系に囲まれた山形県南部の置賜盆地北部に位置しています。市域東部及び北部には山々が連なり南は沃野が開け、昼夜の寒暖差が大きい典型的な内陸性の気候は、米や野菜、果樹などの栽培に適しており、特にブドウ栽培は県内最古の歴史があります。 また、開湯 930 年余の伝統ある赤湯温泉や 1200 年以上の歴史を誇る熊野大社、全国一の文化と技の「南陽の菊まつり」などの豊富な観光資源に加え「最大の木造コンサートホール」としてギネス世界記録®認定の南陽市文化会館は、全国的な注目と各アーティストの高い評価を集めています。 交通面では、各鉄道道路交通網が交差する地理的条件に恵まれ、県南地方の交通の要衝地としての役割が期待されています。		
	高畠町 人口：22,463 人 面積：180.26 km²	【特産品】 米、ラ・フランス、ぶどう、りんご、さくらんぼ、まつたけ、そば、牛肉、清酒、ワイン、納豆、乳製品、農産加工品 【観光施設】 亀岡文殊、まほろば古の里歴史公園、旧高畠駅、道の駅たかはた、浜田広介記念館、ゆうきの里さんさん、高畠ワイナリー、昭和縁結び通り、よねおりかんこうセンター 【主な催し】 青竹ちょうちんまつり、グル麺ライド、クラシックカーレビュー in 高畠、大日如来わらじみこしまつり、まほろば冬咲きばたんまつり 【主な産業】 製造業（生産用機械、食料品）、農業（果樹）  ぶどう  青竹ちょうちんまつり  グル麺ライド
高畠町は、県南部に位置し、奥羽山脈に源流を持つ屋代川と和田川の扇状地に拓けた稔り豊かな町です。「まほろばの里たかはた」とも称されており、この「まほろば」とは、古事記などでしばしばみられる「まほら」という古語に由来する言葉で、「丘、山に囲まれた稔り豊かな住みよいところ」という意味を持っています。肥沃な平坦地には、黄金色の稲穂が頭を垂れ、また、山間部にかけては、豊富な果樹が熟し、まさに「まほろばの里」と呼ぶにふさわしいところです。 また、「日本のアンデルセン」とも呼ばれ、『泣いた赤おに』などの作品で知られる童話作家・浜田広介の生誕の地であり、広介童話の根底に流れる「愛と善意の心」が息づく、「人が輝き誇れるまち」を目指しています。		

	川西町 人口：14,558 人 面積：166.60 km²	【特産品】 米、米沢牛、清酒、紅大豆、むくり鮎、牛こん、ダリア 【観光施設】 ダリヤ園、置賜公園ハーブガーデン、浴浴センターまどか、川西ダリヤパークゴルフ場、内山沢遊歩道、フレンドリープラザ、遅筆堂文庫、アルカディア人物館、下小松古墳群、天神森古墳、掬粋巧芸館、森のマルシェ、龍蔵桜 【主な催し】 かわにし夏まつり、地酒と黒べこまつり、小松豊年獅子踊、産業フェア、春待ち市、ダリヤカップマウンテンバイク大会、吉里吉里忌 【主な産業】 農業（稲作、畜産、野菜）
川西町は、古くは越後街道の宿場町として栄え、広大な田園となだらかな丘陵地とに二分されており、豊かな自然とともに稲作や米沢牛の生産が盛んな町です。 町内には、日本最大規模を誇るダリヤ園、町出身の作家・劇作家井上ひさし氏に関する貴重な資料や蔵書などを収蔵する遅筆堂文庫・フレンドリープラザなどがあります。 地理的に置賜地方のほぼ中心に位置し、各市町からのアクセス性に優れていることから、地域の高度医療、救急医療を担う公立置賜総合病院が立地しています。近接する国道287号米沢川西バイパスや国道113号梨郷道路などの主要幹線道路の整備と併せ、病院周辺の土地を活用し、医療・住宅・商業が融合したまちづくりを進めています。		



紅大豆



ダリヤ園



小松豊年獅子踊

	小国町 人口：7,107 人 面積：737.56 km²	【特産品】 山菜、きのこ、雑穀、米沢牛、やまがた地鶏、イワナ、地酒、つる細工 【観光施設】 飯豊梅花皮（かいらぎ）荘、飯豊山荘、白い森交流センターりふれ、水源（みず）の郷パークゴルフ場、健康の森横根、白い森オートキャンプ場、大宮子易両神社、黒沢峠、きてくろ館、森林セラピー基地温身平、樽口峠道の駅白い森おぐに 【主な催し】 白い森スノーフェスティバル、春まつり、小玉川熊まつり、おぐに夏まつり、雪の学校、黒沢峠まつり、古田歌舞伎公演 【主な産業】 製造業（窯業土石、非鉄金属、生産用機械）
小国町は東京都 23 区がすっぽり入るほどの広大な町域を有し、その大部分がブナなどの広葉樹を中心とする森に覆われています。また、全国屈指の豪雪地帯で積雪が 4 m を超える集落もあります。冬季には国道 113 号が他に通じる唯一の道路となりますが、吹雪などにより全面通行止となる場合もあります。 こうした厳しい環境の中で自然と共生しながら磨き上げてきた独特の生活文化・生活技術が、現在も暮らしの中に脈々と受け継がれています。 一方、町の中心部には極めて高度な先端素材を製造するグローバル企業も立地し、山間地域には珍しい製造業を中心とした産業構造となっています。		



つる細工



飯豊梅花皮荘



小玉川熊まつり

	白鷹町 人口：12,890 人 面積：157.71 km²	【特産品】 ミニトマト、そば、紅花、鮎、生乳、深山和紙・深山和紙人形、白鷹紬、天蚕紬 【観光施設】 深山観音堂、のどか村、道の駅白鷹ヤナ公園（やな場）、ふるさと森林公園（パレス松風）、どおりむ農園 【主な催し】 しらたか古典桜まつり、紅花まつり、鮎まつり、若鮎マラソン 【主な産業】 農業（畜産、野菜、花卉）
白鷹町は、山形県の南部、置賜盆地の北端に位置し、町の中央部を南から北へ最上川が流れ、西は朝日連峰、東は白鷹丘陵に囲まれる自然豊かな地域です。 交通面では、南北に国道 287 号線が、町中心部から東（南陽市・山形市方面）へは国道 348 号線がはしり、鉄道については、南陽市赤湯から白鷹町荒砥までを運行区間とする山形鉄道フラワー長井線が通っています。 紅花の生産量が日本一であることから、「日本の紅（あか）をつくる町」をキャッチフレーズに、紅花まつりの開催や白鷹町に由来する「紅（あか）」を集めた「SHIRATAKA RED（シラタカ・レッド）」の商品開発などの取組を行っています。		



紅花



やな場



若鮎マラソン



紅花



やな場



若鮎マラソン

	飯豊町 人口：6,613 人 面積：329.41 km²	【特産品】 米沢牛、米、アスパラガス、こくわワイン、どぶろく、牛乳、ハチミツ、雪室じゃがいも、宇津沢かぼちゃ、わらび、菅笠 【観光施設】 どんでん平ゆり園、どんでん平スノーパーク、道の駅いいで、めざみの里観光物産館、農家レストラン「エルベ」、白川湖の水没林、中津川観光わらび園、白川ダム湖畔オートキャンプ場、ホトケヤマ散居集落展望台、いいで天文台 【主な催し】 荒獅子まつり、めざみの里まつり、SNOWえっぐフェスティバル、全国白川ダム湖畔マラソン大会、いいで黒べこまつり 【主な産業】 農業（稲作、畜産、野菜）
飯豊町は、山形県の南西部に位置し、総面積のうち約8割以上を緑豊かな山林が占めます。飯豊連峰から流れる清流白川が町を縦断し、最上川に注ぎ、全国的にも数少ない屋敷林に囲まれた、田園散居集落が美しい景観を形成しています。 飯豊町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。素晴らしい地域資源を持ちながら過疎にある町村が、自らの地域に誇りを持ち、将来にわたって美しい地域づくりを行うこと、地域の自立を推進すること、また、景観や環境を守り、地域の特色を観光資源として付加価値を高め、地域資源の保護と地域経済の発展を目指しています。 飯豊電池バレー構想の推進により、さらに環境に配慮した取組を進めます。		
 どぶろく  どんでん平ゆり園  荒獅子まつり		



どぶろく



どんでん平ゆり園



荒獅子まつり

(4) 圏域の人口

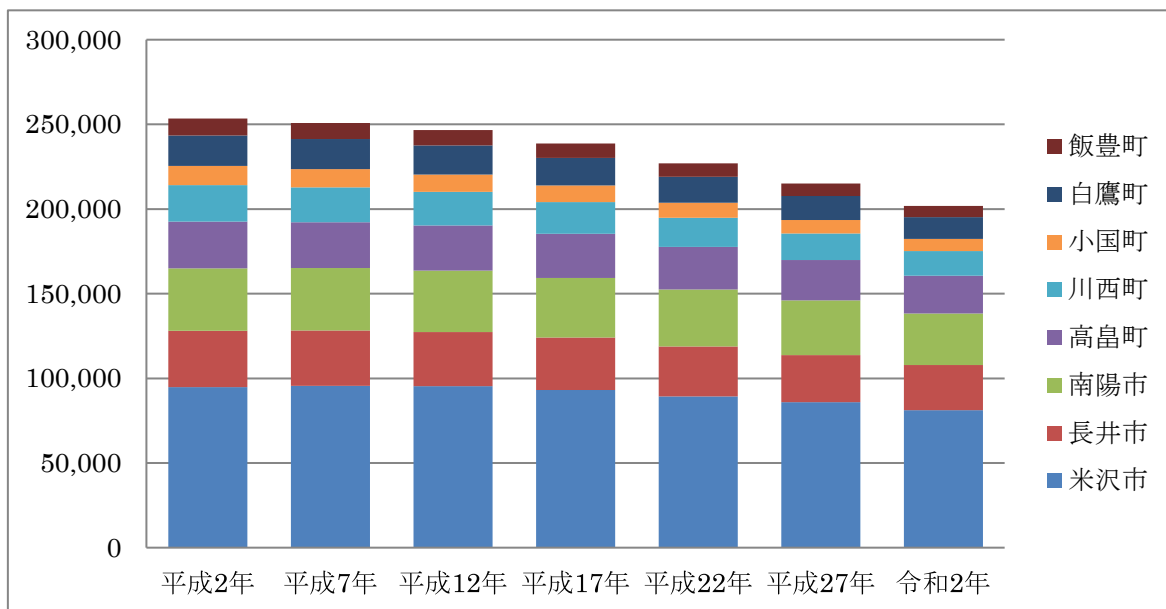
① 人口推移

国勢調査等の結果を見ると、圏域の人口は、平成2年から令和2年までの間に5万人以上が減少し、令和2年10月1日現在の圏域の人口は約20万人になっています。

【圏域の人口推移】

単位：人

市町名等	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
米沢市	94,760	95,592	95,396	93,178	89,401	85,953	81,252
長井市	33,260	32,727	31,987	30,929	29,473	27,757	26,543
南陽市	36,977	36,810	36,191	35,190	33,658	32,285	30,420
高畠町	27,510	26,964	26,807	26,026	25,025	23,882	22,463
川西町	21,548	20,764	19,688	18,769	17,313	15,751	14,558
小国町	11,315	10,715	10,262	9,742	8,862	7,868	7,107
白鷹町	18,112	17,706	17,149	16,331	15,314	14,175	12,890
飯豊町	9,880	9,538	9,204	8,623	7,943	7,304	6,613
置賜圏域	253,362	250,816	246,684	238,788	226,989	214,975	201,846



出典：総務省「国勢調査」

② 圏域の年齢3区分別人口の推移

圏域人口の推移を年齢区分別に見ると、平成2年から令和2年までの間に、老年人口（65歳以上）が1.6倍に増えている一方、生産年齢人口（15～64歳）は32%減少し、年少人口（0～14歳）にあつては52%も減少しています。

【圏域の年齢3区分別人口の推移】

単位：人

	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
0～14歳	46,464	41,516	36,809	32,488	28,930	25,990	22,337
15～64歳	163,842	157,583	151,554	143,673	133,875	122,109	110,594
65歳以上	43,048	51,712	58,314	62,567	63,577	66,311	68,915
総数	253,362	250,816	246,684	238,788	226,989	214,975	201,846

※総数には年齢不詳者を含むため、各年齢区分の合計とは一致しない。出典：総務省「国勢調査」

令和2年10月1日現在の置賜地域の年齢3区分別の人口の割合は、山形県全体の割合と類似した傾向にありますが、全国と比べると、年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）の割合が低く、老年人口（65歳以上）の割合が高い傾向にあります。また、人口に占める老年人口の割合（高齢化率）は3割を超えています。

【圏域の年齢3区分別人口】（R2.10.1時点）

単位：人、％

市町名等	総数	年少人口 (0～14歳)		生産年齢人口 (15～64歳)		老年人口 (65歳以上)	
米沢市	81,252	8,883	10.9	46,979	57.8	25,390	31.2
長井市	26,543	2,903	10.9	14,170	53.4	9,470	35.7
南陽市	30,420	3,516	11.6	16,557	54.4	10,347	34.0
高畠町	22,463	2,709	12.1	12,157	54.1	7,597	33.8
川西町	14,558	1,498	10.3	7,378	50.7	5,682	39.0
小国町	7,107	691	9.7	3,534	49.7	2,882	40.6
白鷹町	12,890	1,382	10.7	6,518	50.6	4,990	38.7
飯豊町	6,613	755	11.4	3,301	49.9	2,557	38.7
置賜圏域	201,846	22,337	11.1	110,594	54.8	68,915	34.1
山形県	1,068,027	120,271	11.3	586,578	54.9	361,178	33.8
全 国	12,615	1,503	11.9	7,509	59.5	3,603	28.6

※全国の人口総数の単位は「万人」

出典：山形県「山形県の概要」

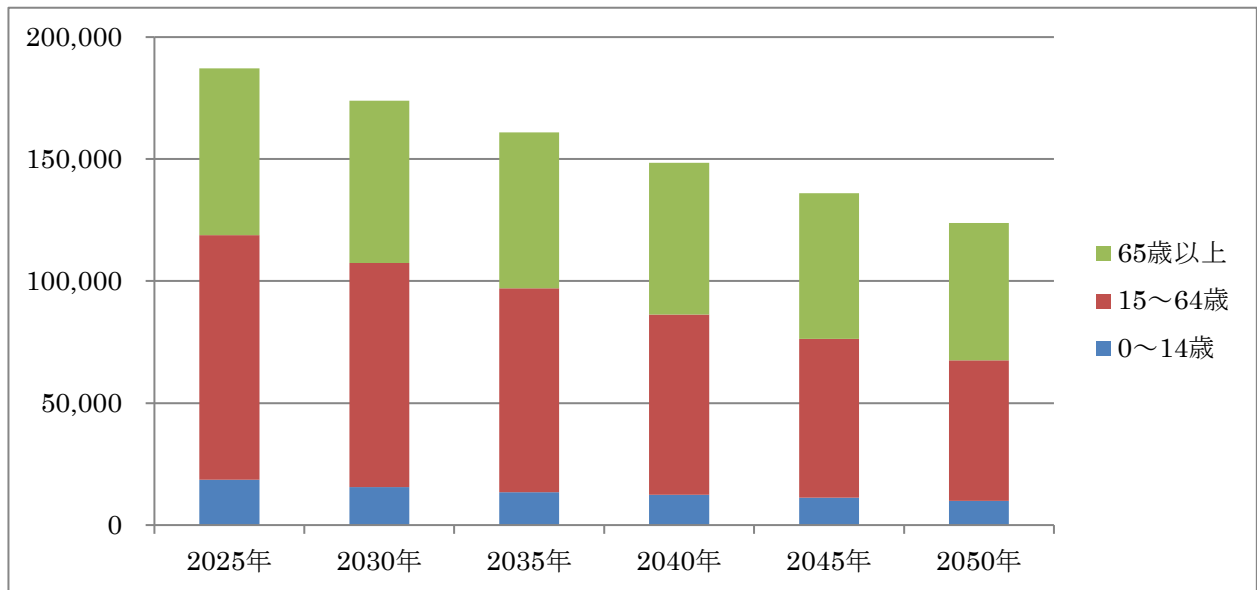
③ 将来推計人口

令和5年12月に国立社会保障・人口問題研究所が発表した将来推計人口によると、今後30年で圏域全体の人口は4割近く減少する見込みとなっています。特に、年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）が約半分になる見込みです。

【圏域の将来推計人口（3区分別）】

単位：人、％

	2025年		2030年		2035年	
0～14歳	18,604	10.0	15,542	9.0	13,476	8.4
15～64歳	100,226	53.5	91,830	52.8	83,548	51.9
65歳以上	68,420	36.5	66,502	38.2	63,910	39.7
総 数	187,250		173,874		160,934	
	2040年		2045年		2050年	
0～14歳	12,353	8.3	11,251	8.3	9,970	8.0
15～64歳	73,919	49.8	65,013	47.8	57,546	46.5
65歳以上	62,149	41.9	59,731	43.9	56,266	45.5
総 数	148,421		135,995		123,782	



出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」

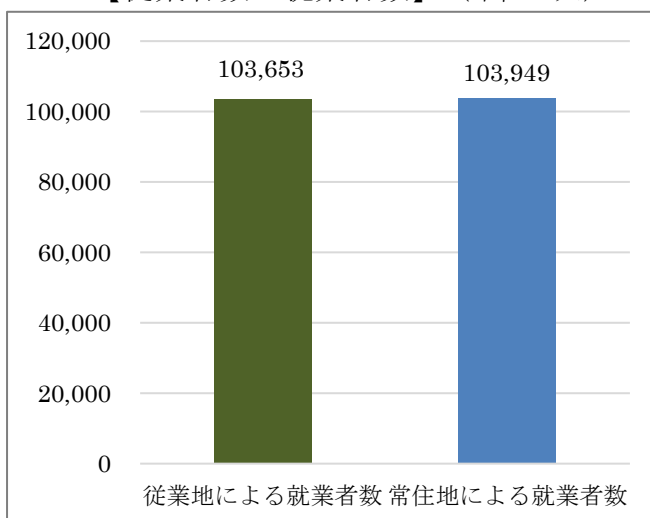
④ 地域の一体性

置賜圏域の特徴として、圏域内の人口のうち、従業地による就業者数と常住地による就業者数、昼間人口と夜間人口のそれぞれが、ほぼ一致していることが挙げられます。

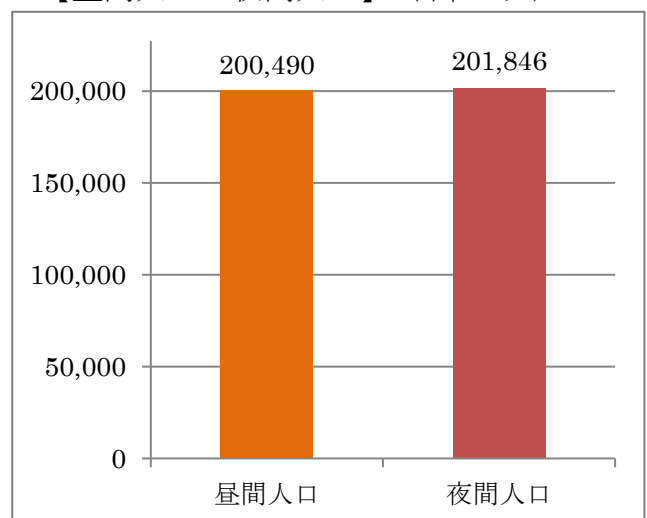
「圏域内市町における常住地と従業地の関係」を見ても、多くの住民が圏域内で就業等をしていることがわかり、圏域全体として、「職」と「住」が一体的な地域であることを示しています。

※従業地による就業者数：圏域外に住んでいる人を含む、この圏域で就業している人口
 常住地による就業者数：常住している人口のうち就業している人口
 昼間人口：常住している人口に、就業や就学で出入りする人口を加味した人口
 夜間人口：常住している人口（＝国勢調査における人口）

【従業地数・就業者数】（単位：人）



【昼間人口・夜間人口】（単位：人）



出典：総務省「令和2年国勢調査」

【圏域内市町における常驻地と従業地の関係】

単位：人

従業地 常驻地	米沢市		長井市		南陽市		高畠町		川西町		小国町		白鷹町		飯豊町		その他	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
米沢市	34,558	84.7%	370	0.9%	842	2.1%	1,266	3.1%	829	2.0%	41	0.1%	27	0.1%	93	0.2%	2,773	6.8%
長井市	638	5.0%	7,805	60.7%	616	4.8%	132	1.0%	740	5.8%	107	0.8%	877	6.8%	761	5.9%	1,173	9.1%
南陽市	2,169	15.0%	869	6.0%	7,396	51.1%	1,192	8.2%	802	5.5%	29	0.2%	100	0.7%	183	1.3%	1,745	12.0%
高畠町	3,406	32.1%	248	2.3%	1,397	13.2%	4,231	39.8%	408	3.8%	12	0.1%	20	0.2%	52	0.5%	849	8.0%
川西町	1,835	28.5%	546	8.5%	594	9.2%	443	6.9%	2,409	37.5%	15	0.2%	44	0.7%	145	2.3%	401	6.2%
小国町	84	2.5%	107	3.1%	19	0.6%	5	0.1%	34	1.0%	2,920	85.6%	3	0.1%	57	1.7%	182	5.3%
白鷹町	166	2.8%	1,516	25.1%	149	2.5%	25	0.4%	140	2.3%	15	0.2%	3,146	52.2%	119	2.0%	756	12.5%
飯豊町	258	8.4%	849	27.6%	191	6.2%	39	1.3%	234	7.6%	78	2.5%	84	2.7%	1,223	39.8%	115	3.7%

※従業・通学者数は、15歳以上の従業者及び通学者数の合計から、自宅において従業する者を除いた値。

網掛部は、自市町での従業・通学者。太枠部は、他市町村で従業・通学者数の割合が10%を超える箇所。

出典：総務省「令和2年国勢調査」

【従業者・通学者数】

単位：人

米沢市	長井市	南陽市	高畠町	川西町	小国町	白鷹町	飯豊町
45,340	14,727	17,145	13,041	8,094	3,803	7,132	3,816

出典：総務省「令和2年国勢調査」

⑤ 就業人口の産業別構成

置賜圏域の特徴として、山形県全体の割合と比較し、第2次産業が高く第3次産業が低い構成になっています。

【圏域の区分別人口】（R2. 10. 1 時点）

単位：人、%

市町名等	総数	第1次		第2次		第3次	
米沢市	43,073	1,493	3.5	14,846	34.5	26,734	62.1
長井市	14,003	954	6.8	5,329	38.1	7,720	55.1
南陽市	16,289	1,537	9.4	5,180	31.8	9,572	58.8
高畠町	12,353	1,700	13.8	4,437	35.9	6,216	50.3
川西町	7,678	1,261	16.4	2,483	32.3	3,934	51.2
小国町	3,568	292	8.2	1,556	43.6	1,720	48.2
白鷹町	6,737	711	10.6	2,495	37.0	3,531	52.4
飯豊町	3,616	606	16.8	1,245	34.4	1,765	48.8
置賜圏域	107,317	8,554	8.0	37,571	35.0	61,192	57.0
山形県	562,460	48,737	8.7	160,622	28.6	353,101	62.8

出典：山形県「置賜地域の概況」

3 圏域の将来像

(1) 圏域の将来像 ～ つながる置賜 とともに明るい未来へ ～

①圏域の現状

置賜圏域には、最上川の最上流部に当たり伊達氏や上杉氏の城下町として発展した米沢市、縄文・古墳時代の遺跡や古社・古刹等の名所旧跡が残る南陽市、高畠町、川西町、最上川と置賜白川・野川との合流地点に位置し良質で豊富な水量に恵まれる長井市、米沢藩の舟運流通の中心地として紅花の産地である白鷹町、日本海側との玄関口である小国町、田園散居集落が広がる飯豊町があり、優れた景観に多様な温泉、四季折々の花回廊や独特の食文化を生み出しています。その歴史的背景や地理的要因から、行政区域を越えて生活圏を共有し、経済、教育、文化などの面で深いつながりを持ちながら発展してきました。これまで圏域内の各市町は、それぞれが活力ある地域づくりを実現するため、様々な取組を推進してきました。

②圏域の将来像

人口減少や高齢化は急速に進んでおり、今後も、こうした傾向は続くものと予測されます。急激な人口減少は、労働力人口の減少による地域経済の縮小、担い手不足による地域活力や地域機能の低下、社会基盤の維持管理コストや社会保障費の増加等による自治体財政の悪化などを招き、さらなる人口減少を引き起こしてしまうといった悪循環に陥る危険性をはらんでいます。こうした状況の中、今後も、地域の活性化を図り持続的に発展していくためには、単独自治体での事業展開には限界があることから、広域で連携し、効果的、効率的に行政運営を行うことが必要です。また、自治体間の連携に加え、圏域内の関係団体、事業者、住民等との協働を推進することで、さらなる相乗効果が期待されます。このような認識の下、置賜圏域の8市町は、それぞれの独自性を維持しながら、地域の魅力をしっかりと磨き、その上で様々な分野において連携を深めつつ、住民の暮らしに必要な諸機能を圏域全体として確保することで、住民が暮らしやすい、活力ある圏域を創造し、共存共栄を目指します。

置賜圏域のかけがえのない財産を次世代に引き継ぎ、圏域全体が未来に向けてさらに発展するよう、医療や福祉、子育て・教育の充実を図り、置賜の持続的発展を支えるとともに、中心市である米沢市の特色である学園都市の強みを生かして大学等と連携し、地域経済を活性化させ、人々の交流で賑わう社会基盤を形成することで、魅力あふれる圏域を目指し前進していきます。

(2) 圏域の将来展望人口

圏域内の各市町が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「人口ビジョン」を基に、本圏域における2040年における圏域全体の将来展望人口を167,738人とし、高齢化率を37.1%以下と定めます。

【圏域の将来展望人口】

(単位：人)

		2040(R22)	構成比	社人研推計との比較
将来展望人口 (人口ビジョン)	0～14歳	19,800	11.8%	7,447
	15～64歳	85,788	51.1%	11,869
	65歳以上	62,150	37.1%	1
	総数	167,738		19,317
将来推計人口 (社人研)	0～14歳	12,353	8.3%	
	15～64歳	73,919	49.8%	
	65歳以上	62,149	41.9%	
	総数	148,421		

出典：各市町「人口ビジョン」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」

4 具体的な取組

圏域の将来像の実現に向けて、置賜定住自立圏の形成に関する協定書に基づき、各市町が連携して推進していく具体的取組の内容を以下に掲載します。

政策分野	分野	取組事項	具体的取組	掲載頁
(1) 生活機能の 強化	① 医療	ア 地域医療体制の充実 	1 平日夜間及び休日における診療体制の充実	14
			2 医療情報ネットワークの運営	14
			3 医療従事者確保事業	15
			4 人工透析患者環境確保事業	15
	② 福祉	ア 子育て支援の充実 	1 病児保育事業（病児対応型）の広域利用	16
			2 一時預かり事業の広域利用	16
			3 児童遊園施設等の広域利用	17
			4 指定児童発達支援事業所の広域利用	17
		イ 福祉・健康事業の充実  	1 置賜成年後見センターの運営	18
			2 自殺対策における普及啓発活動の推進	19
			3 室内軽運動場等整備による福祉・健康の増進	19
	③ 教育	ア 教育環境・生涯学習の充実 	1 白鷹高等専修学校教育充実支援事業	20
	④ 産業振興	ア 農畜産物等の振興  	1 置賜地域特産農産物等消費流通拡大事業	21
			2 有害鳥獣対策の広域的対応の検討	21
		イ 米沢牛の振興  	1 米沢牛生産基盤強化事業	22
			2 自給飼料の確保及び放牧場の広域利用	22
			3 先進的取組の推進及び生産基盤強化に向けた研究会の開催	23
			4 米沢市食肉センターの管理運営	23
			5 米沢牛のブランド向上に向けてのPR推進	24
			6 米沢牛生産者への支援事業	24
		ウ 商工業の活性化と雇用促進 	1 産業人材の確保・定着の促進	25
		エ 広域観光の推進	1 道の駅米沢を中心とした広域観光の推進	26

政策分野	分野	取組事項	具体的取組	掲載頁
			2 山形おきたま観光協議会による観光プロモーションの実施	27
			3 地域連携DMOの運営	27
			4 観光施設の整備	28
	⑤ 環境	ア 環境の保全    	1 ゼロカーボンの実現に向けた環境保全及び循環型社会構築事業並びに再生可能エネルギーの利用促進及び地産地消の取組	29
	⑥ 水道	ア 圏域内水道の広域連携等の検討 	2 ゼロカーボンの実現に向けた森林・里山保全対策の検討	30
			1 圏域内水道の広域化の検討	31
	⑦ 消防・防災	ア 消防・防災体制の強化 	1 消防・防災体制の強化	32
(2) 結びつきやネットワークの強化	① 交通	ア 交通ネットワーク等の維持・整備  	1 米坂線の早期全線復旧に向けた取組	33
			2 圏域内鉄道路線の利用促進並びに山形鉄道フラワー長井線の利用拡大及び鉄道施設等の維持管理や整備	34
			3 路線バス等の運行、維持及び広域的な公共交通網の整備に向けた検討	35
			4 道路除雪の路線交換	35
			5 圏域内における道路整備の推進	36
	② 移住・定住・交流	ア 移住・定住・交流等の推進 	1 広域連携による移住交流促進及び地域おこし協力隊交流事業	37
			2 婚活支援事業	37
(3) 圏域マネジメント能力の強化	① 職員等の交流	ア 職員研修及び交流 	1 職員研修事業	38
			2 地方創生に向けた人材育成事業	39
			3 行政DXの推進	39

【留意事項】

①各取組に記載している事業費は現時点の見込額であり、毎年度の予算で具体を定めます。

②各取組にSDGsの視点を取り入れ、SDGsの推進に向けて取組の共有を図ります。

※SDGs (Sustainable Development Goals) は、2015年9月に国連サミットにおいて全会一致で採択された持続可能な開発目標であり、2030年までを計画期間として、誰一人取り残さない社会の実現を目指し、国際社会全体で取り組む17の目標（ゴール）を掲げています。



(1) 生活機能の強化に係る政策分野

① 医療

ア 地域医療体制の充実

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域内の住民が安心して暮らすことができる地域医療体制の充実を図るため、病院、診療所等の関係機関の連携を図るとともに、医師、看護師等の医療従事者の確保に向けた取組を行う。
-------	--

【具体的取組】

事業名	1 平日夜間及び休日における診療体制の充実					SDGs	
関係市町	全市町						
事業内容	平日夜間及び休日における初期救急医療体制を確保するため、圏域内の診療機能を維持するとともに、住民に対して初期救急医療の適切な利用に関する普及啓発を行う。 ○平日夜間及び休日における初期救急医療体制の確保（R6～R10） ○普及啓発活動の実施（R6～R10）					 米沢平日夜間・休日診療所の機能が移転した新米沢市立病院	
連携効果	圏域における利用者の利便性向上と初期救急医療体制の確立が期待される。						
事業費見込 （千円）	R6	R7	R8	R9	R10	合計	
	49,307	53,324	48,447	48,447	47,947	247,472	
国県補助等							
役割分担	・米沢市は、平日夜間及び休日における初期救急医療体制を確保するほか、長井市、南陽市は、休日診療所の運営を行う。 ・高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町は、各施設の維持等に係る費用を負担する。 ・各市町は、住民に対して周知を行う。						
成果指標 （KPI）	指標	基準値		目標値		備考	
	平日夜間・休日診療機能数	3 （R4）		基準値を維持 （R10）		各市町保健担当課調べ	

事業名	2 医療情報ネットワークの運営				SDGs		
関係市町	全市町						
事業内容	検査結果や画像データ等、医療情報の共有とデジタル化を図るため、公立置賜総合病院、米沢市立病院を中心に、医療機関との間で構築した医療情報ネットワークを運営する。 ○システムの運用（R6～R10）						
連携効果	圏域住民の身体的・経済的負担の軽減及び早期診断・早期治療が期待される。						
事業費見込 （千円）	R6	R7	R8	R9	R10	合計	
	16,890	15,963	15,005	19,448	15,005	82,311	
国県補助等	公営企業債、特別交付税（病診連携等）						
役割分担	・各市町は、当該ネットワークの運用に係る費用を負担し、システムの維持を図る。						
成果指標 （KPI）	指標	基準値		目標値		備考	
	置賜地域医療情報ネットワークシステム（OKI-net）等の継続						

事業名	3 医療従事者確保事業					SDGs	
関係市町	全市町						
事業内容	圏域内の急性期医療を担う中核病院である公立置賜総合病院、米沢市立病院の機能を維持するため、医師や看護師等医療従事者の確保に向けた事業を実施する。また、圏域内の医療従事者を確保するため、魅力的な病院づくりに努めるとともに、国・県への働きかけを行う。 ○医療従事者確保事業の実施（R6～R10） ○医療従事者奨学資金貸付制度の実施（R6～R10） ○要望活動の実施（R6～R10）						
連携効果	圏域内の医療体制が維持されることで、住民の安全・安心につながることを期待される。						
事業費見込 （千円）	R6	R7	R8	R9	R10	合計	
	48,039	46,840	52,926	60,726	60,726	269,257	
国県補助等	特別交付税（病診連携等）						
役割分担	・各市町は、医療従事者確保のために必要な事業及び医療従事者確保に向けた情報提供・情報発信を実施するとともに、国・県への働きかけを行う。						
成果指標 （KPI）	指標	基準値		目標値		備考	
	目標医師数（置賜地域）	386 人 （R2）		424 人 （R8）		山形県医師確保計画	

事業名	4 人工透析患者環境確保事業					SDGs	
関係市町	全市町						
事業内容	人工透析を必要とする住民の身体的・経済的負担を減らすため、人工透析を実施する医療機関までの交通支援等を行い、圏域として透析医療の体制を確保する。 ○医療体制の確保（R6～R10） ○交通支援事業の実施（R6～R10）						
連携効果	圏域内の医療体制が維持されることで、住民の安全・安心につながることを期待される。						
事業費見込 （千円）	R6	R7	R8	R9	R10	合計	
	26,470	27,271	26,356	26,356	26,356	132,809	
国県補助等	過疎対策事業債、市町村総合交付金						
役割分担	・各市町は、透析医療の体制を確保する。 ・各市町は、対象者に情報提供を行うとともに交通支援事業を行う。						
成果指標 （KPI）	指標	基準値		目標値		備考	
	透析医療の体制確保						

② 福祉

ア 子育て支援の充実

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域内の住民が、住み慣れた地域で、安心して子どもを産み育てることができる環境をつくるため、子育て支援施設の広域利用等、支援体制の充実に向けた取組を行う。
-------	--

【具体的取組】

事業名	1 病児保育事業（病児対応型）の広域利用					SDGs	
関係市町	全市町						
事業内容	安心して子育てできる環境をつくるため、米沢市、長井市、高畠町及び川西町の病児保育施設において、連絡票による医師の指示のもと、看護師等が一時的に保育を行う。 ○事業の実施（R6～R10）						
連携効果	圏域として、安心して子育てできる環境の向上が期待される。						
事業費見込 （千円）	R6	R7	R8	R9	R10	合計	
	52,763	59,162	58,843	57,395	58,843	287,006	
国県補助等	子ども・子育て支援交付金、山形県保育対策等促進事業費補助金、過疎対策事業債、過疎地域持続的発展特別事業債						
役割分担	・米沢市、長井市、高畠町及び川西町は、実施している保育所等に対して補助金等を交付する。 ・各市町は、住民に対して周知を行う。						
成果指標 （KPI）	指標	基準値		目標値		備考	
	病児保育事業の実施施設数	5 （R4）		基準値を維持 （R10）		各市町子ども担当課調べ	

事業名	2 一時預かり事業の広域利用					SDGs	
関係市町	全市町						
事業内容	安心して子育てできる環境をつくるため、米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町及び白鷹町の認可保育所等において、家庭で保育を受けることが一時的に困難になった乳幼児を預かり、必要な保育を行う。 ○事業の実施（R6～R10）						
連携効果	圏域として、安心して子育てできる環境の向上が期待される。						
事業費見込 （千円）	R6	R7	R8	R9	R10	合計	
	42,752	46,192	43,452	43,452	43,452	219,300	
国県補助等	子ども・子育て支援交付金、山形県保育対策等促進事業費補助金						
役割分担	・米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町及び白鷹町は、実施している保育所等に対して補助金等を交付する。 ・各市町は、住民に対して周知を行う。						
成果指標 （KPI）	指標	基準値		目標値		備考	
	一時預かり事業の 実施施設数	22 （R4）		基準値を維持 （R10）		各市町子ども担当 課調べ	

事業名	3 児童遊園施設等の広域利用					SDGs	
関係市町	全市町						
事業内容	圏域内における児童遊園施設や公園等、児童が遊べる施設の広域利用を図るため、施設の適切な維持管理を行うとともに、各市町は連携し、情報発信を行う。 ○施設の維持管理（R6～R10） ○広域利用の実施（R6～R10）						
							
	くても（米沢市）		くるんと（長井市）		もつくる（高畠町）		
連携効果	圏域として、安心して子育てできる環境の向上が期待される。						
事業費見込 （千円）	R6	R7	R8	R9	R10	合計	
	242,687	126,947	251,487	254,949	255,499	1,131,569	
国県補助等	子ども・子育て支援交付金、山形県保育対策等促進事業費補助金						
役割分担	・各市町は、当該施設の適正な維持管理を行う。 ・各市町は、住民に対して周知を行う。						
成果指標 （KPI）	指標		基準値		目標値		備考
	児童遊園等の施設数		11 （R4）		基準値を維持 （R10）		各市町子ども担当課調べ

事業名	4 指定児童発達支援事業所の広域利用					SDGs	
関係市町	全市町						
事業内容	障がい児の発達を支援するため、指定児童発達支援事業所を運営するとともに広域利用を推進する。 ○広域利用の実施（R6～R10）						
連携効果	圏域として、安心して子育てできる環境の向上が期待される。						
事業費見込 （千円）	R6	R7	R8	R9	R10	合計	
	93,593	122,564	90,709	90,709	90,709	488,284	
国県補助等							
役割分担	・米沢市及び長井市は、当該事業所の運営を行う。 ・各市町は、住民に対して周知を行うほか、児童発達支援センターの設置に努める。						
成果指標 （KPI）	指標	基準値		目標値		備考	
	児童発達支援センターの設置市町村数	3 (R4)		8 (R10)		各市町福祉担当課調べ	

イ 福祉・健康事業の充実

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域内の住民が安心して健康的に暮らすことができる地域づくりを進めるため、住民の福祉及び健康に関する事業の充実に向けた取組を行う。
-------	--

【具体的取組】

事業名	1 置賜成年後見センターの運営					SDGs		
関係市町	全市町							
事業内容	置賜地域の権利擁護支援の中核的な役割を担う「置賜成年後見センター（令和4年4月設置）」を運営し、成年後見制度の利用促進と円滑な制度運用に取り組むことで、住民が住み慣れた地域で安心して生活できることを目指す。 ○置賜成年後見センターの運営（R6～R10）							
連携効果	置賜成年後見センターの設置により、専門職による専門的助言等の支援の確保や協議会の事務局運営など、地域連携ネットワークのコーディネートを行うことが可能となり、成年後見制度の利用促進が期待される。							
事業費見込 （千円）	R6	R7	R8	R9	R10	合計		
	21,371	21,646	21,646	21,646	21,646	107,955		
国県補助等	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金							
役割分担	・米沢市は、置賜成年後見センター運営協議会の事務局として庶務を行う。 ・各市町は、置賜成年後見センター運営協議会を設置し、置賜成年後見センターの事業を米沢市社会福祉協議会に委託する。 ・各市町は、運営負担金を分担し、置賜成年後見センターと連携することで、成年後見制度の利用促進を図る。							
成果指標 （KPI）	指標	基準値		目標値		備考		
	市民後見人養成者数	0 （R4）		40 （R10）		置賜成年後見センター運営協議会調べ		

事業名	2 自殺対策における普及啓発活動の推進				SDGs	 
関係市町	全市町					
事業内容	自殺対策を強化するため、自殺に関する現状や課題、対策に取り組む意義について関係者と認識を共有できる広域担当者連絡会議を開催する。また、圏域内にあ る専門病院、専門家等の人材を活用した講演会を開催し、住民や関係団体等への 普及啓発に努め、地域における多様な支え手が連携して包括的な支援を行う。さ らに、自分自身とまわりの人のいのちと心を大切にする気持ちを醸成するため、 圏域内でアウェアネスリボン（青色リボン）活動を推進する。 ○連絡会議や講演会等の実施（R6～R10）					
連携効果	自殺の現状と対策の必要性、支援体制に関する情報の提供など、これまで以上に 主体的な対策が検討されることが期待される。					
事業費見込 （千円）	R6	R7	R8	R9	R10	合計
	2,200	2,120	2,193	2,203	2,203	10,919
国県補助等	山形県地域自殺対策強化交付金					
役割分担	・米沢市は、研修会や各関係機関の連携による自殺防止対策等の企画運営につい ての事務局を担う。 ・各市町は、専門機関、専門家等の研修の講師となる人材の選定や研修会受講対 象者への連絡調整を行うとともに自殺予防について周知を行う。					
成果指標 （KPI）	指標	基準値		目標値		備考
	属性や世代を問わ ない包括的な相談 支援窓口の設置市 町村数	2 （R4）		8 （R10）		各市町福祉担当課 調べ

事業名	3 室内軽運動場等整備による福祉・健康の増進					SDGs	
関係市町	長井市						
事業内容	工場として使用されてきた建物を軽運動場等として活用できるよう整備し、雨天時や降雪時期でも圏域住民が利用できる運動の場を確保する。 施設の活用により、高齢者の筋力低下予防や降雪時期の子どもや若者の運動不足解消を図り、住民の福祉増進を目指す。 整備後は圏域住民にとって利用しやすい施設となるよう、運用方法等について検討を進める。						
連携効果	圏域住民の福祉増進のための環境の向上が期待される。						
事業費見込 (千円)	R6	R7	R8	R9	R10	合計	
	30,000	0	0	0	0	30,000	
国県補助等	地域活性化事業債						
役割分担	・長井市は、工場跡地を室内軽運動場等として活用できるよう整備する。						
成果指標 (KPI)	指標	基準値		目標値		備考	
	施設利用者数	0 (R4)		1,000 人 (R10)		長井市調べ	

③ 教育

ア 教育環境・生涯学習の充実

【形成協定の内容】

取組の内容	学校教育及び住民が生涯を通して学べる機会の充実を図るため、学校等の支援を行うとともに、各市町で開催する各種講座、講演会等の参加対象を圏域内住民に拡大し、及び公共施設の相互利用等を行う。
-------	--

【具体的取組】

事業名	1 白鷹高等専修学校教育充実支援事業				SDGs	
関係市町	全市町					
事業内容	白鷹高等専修学校は、県内でも数少ない高等課程を有する専修学校だが、私立高等学校と同程度の支援がない状況にある。同校に通学する生徒の教育環境の充実と将来を担う人材を育成するため、財政的支援を行うとともに、国・県への働きかけを行う。 ○白鷹高等専修学校への支援（R6～R10） ○要望活動の実施（R6～R10）					
連携効果	服飾・縫製関係で高い技術力を身につけ活躍できる人材の育成のほか、障がいや身体的・精神的問題を抱えている生徒への教育や、学びなおし・自立のための場としての活用が期待される。					
事業費見込 (千円)	R6	R7	R8	R9	R10	合計
	2,455	2,524	2,258	2,258	2,258	11,753
国県補助等						
役割分担	・各市町は、教員確保のための費用及び教育活動の情報発信等に係る費用について支援するとともに、国・県への働きかけを行う。 平等割・国勢調査人口割・基準財政需要学割（各 10%）、生徒数割（70%）					
成果指標 (KPI)	指標	基準値	目標値	備考		
	各学年 1 名の担任の配置					

④ 産業振興

ア 農畜産物等の振興

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域内で生産される安全で安心な農畜産物の振興を図るため、農畜産物及びその加工品についての生産振興及び情報発信等を行う。
-------	---

【具体的取組】

事業名	1 置賜地域特産農産物等消費流通拡大事業					SDGs		
関係市町	全市町							
事業内容	置賜地域の農畜産物、加工品、地域の食に関する産業振興のため、各市町の特色を活かした事業を実施するとともに、置賜農業振興協議会を中心とした広域的なPRイベントを行う。 ○協議会事業の実施（R6～R10） ○各市町事業の実施（R6～R10）							
連携効果	広域的な販路の確保やPR効果の増大のほか、生産者と消費者をつなぐ場の確保が期待される。							
事業費見込 （千円）	R6	R7	R8	R9	R10	合計		
	6,190	4,720	6,190	6,190	6,190	29,480		
国県補助等	新しい地方経済・生活環境創生交付金							
役割分担	・各市町は、置賜農業振興協議会の費用負担を行い、関係機関とともに広域的事業等を行う。 ・県は、置賜農業振興協議会の事務局を担い、各市町と連携し、広域的事業の検討及び実施を行う。							
成果指標 （KPI）	指標	基準値		目標値		備考		
	各市町事業の実施 件数	36 （R4）		基準値を維持 （R10）		各市町農産担当課 調べ		

事業名	2 有害鳥獣対策の広域的対応の検討					SDGs		
関係市町	全市町							
事業内容	捕獲技術者の高齢化等による人材不足に係る課題を解決するため、広域的対応を検討するとともに、担い手を確保するため、狩猟免許の取得・更新や有害捕獲活動への補助を行うほか、射撃場を活用した捕獲技術の向上への取組を支援する。 また、有害鳥獣の処理が課題となっていることから、有害鳥獣の広域処理について検討を進める。 ○各種補助の実施（R6～R10） ○広域的対応の検討（R6～R10）							
連携効果	有害鳥獣対策における、人員不足に係る課題の解決が期待される。							
事業費見込 （千円）	R6	R7	R8	R9	R10	合計		
	8,275	4,804	4,885	4,885	4,285	27,134		
国県補助等	鳥獣被害防止総合対策交付金、過疎対策事業債							
役割分担	・各市町は、有害鳥獣対策の広域的対応の検討を行うとともに、有害鳥獣駆除の担い手確保のための事業を行う。 ・各市町は、置賜広域行政事務組合と連携し、有害鳥獣の広域処理について検討を行う。							
成果指標 （KPI）	指標	基準値		目標値		備考		
	鳥獣被害金額	56,211 千円 （R4）		基準値以下 （R10）		米沢市森林農村整備課調べ		

イ 米沢牛の振興

【形成協定の内容】

取組の内容	地理的表示（G I）保護制度に登録された米沢牛の振興を図るため、増頭その他の生産基盤の強化に向けた取組を行う。
-------	---

【具体的取組】

事業名	1 米沢牛生産基盤強化事業					SDGs		
関係市町	全市町							
事業内容	米沢牛の生産基盤を強化するため、事業者の規模拡大支援や各市町の特色を活かした繁殖・肥育センターを整備し、広域利用を推進することで「置賜生まれ置賜育ちの米沢牛」の生産を図る。 ○畜舎整備（米沢市）（R6～R10） ○畜舎整備（川西町）（R6～R10）							
連携効果	米沢牛の生産基盤を強化することで、高付加価値化、生産者労力の軽減、生産コストの低減などが期待される。							
事業費見込 （千円）	R6	R7	R8	R9	R10	合計		
	67,246	76,125	16,000	16,000	16,000	191,371		
国県補助等	山形県畜産所得向上支援事業、地域活性化事業債							
役割分担	・ 畜舎整備を行う市町等は、当該施設の整備に係る支援を行う。 ・ 各市町は、肥育農家等に対して周知を行う。							
成果指標 （KPI）	指標		基準値		目標値		備考	
	繁殖雌牛の頭数		2,497 頭 （R4）		2,924 頭 （R10）		各市町畜産担当課調べ	

事業名	2 自給飼料の確保及び放牧場の広域利用					SDGs		
関係市町	全市町							
事業内容	自給飼料の確保によるコスト削減や国内飼料給与による他産地との差別化を図るため、子実トウモロコシ及び飼料用イネ（イネWC S）の栽培実証・試験給与や飼料用米利用拡大等を行うとともに、飼料生産組織の設立を目指す。 また、圏域内における放牧場の整備を行い、広域利用を行う。 ○実証栽培・給与検証（R6～R10） ○飼料生産組織設立（R6～R10） ○放牧場の広域利用（草地更新、施設管理）（R6～R10）							
連携効果	自給飼料確保による自給飼料率向上及びコスト削減、国内飼料給与による他産地との差別化、飼料生産組織の設立による雇用創出、稲に代わる作物栽培による農地維持・保全のほか、繁殖牛の増頭・繁殖農家の労働力軽減が期待される。							
事業費見込 （千円）	R6	R7	R8	R9	R10	合計		
	21,613	19,578	21,113	21,113	21,113	104,530		
国県補助等	畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業、国産飼料増産対策事業							
役割分担	・各市町は、県や関係機関と連携し、飼料の栽培に向けた取組や産地交付金の拡充を行う。 ・米沢市、川西町は、放牧場の維持管理を行う。 ・各市町は、放牧場の広域利用に向けた情報発信等を行う。							
成果指標 （KPI）	指標	基準値		目標値		備考		
	飼料作物作付面積	2057.5ha （R4）		2109.2ha （R10）		各市町畜産担当課調べ		

事業名	3 先進的取組の推進及び生産基盤強化に向けた研究会の開催				SDGs	 
関係市町	全市町					
事業内容	優秀な和牛生産に向け、現有の優秀個体の種雄牛及び未經産牛のゲノミック評価を実施し、米沢牛銘柄の確立と優秀個体の安定生産を図るとともに、データを活用した肉質の向上に取り組む。また、各市町は、繁殖雌牛増頭のため、山形おきたま農業協同組合や山形県酪農業協同組合と連携し、E T（受精卵移植）の積極的な活用による生産や流通の支援を行う。 さらに、米沢牛の生産基盤強化に向けた各種事業の検討、各市町が抱える懸案事項の分析や調査研究、先進事例の調査等を行うため、外部人材を活用した研究会を開催する。 特に、生産者や関係者（受精師、削蹄師、飼料生産者）の高齢化等による後継者不足と技術継承を解決するため、畜産関係者の担い手育成及び経営基盤の安定化を目指した事業を検討する。 ○事業の実施（R6～R10） ○研究会の開催（R6～R10）					
連携効果	高品質な「置賜生まれ置賜育ちの米沢牛」の生産拡大及び繁殖雌牛の増頭が期待される。					
事業費見込 （千円）	R6	R7	R8	R9	R10	合計
	276	276	325	325	325	1,527
国県補助等						
役割分担	・米沢市は、先進的取組の推進に向けた研究会を開催し、各種調整・協議を行う。 ・各市町は、各関係機関や農家との調整を行い、事業の実施に向けた検討及び助成を行う。					
成果指標 （KPI）	指標	基準値	目標値		備考	
	受精卵移植頭数 （受精卵を移植した親牛頭数）	265 頭 （R4）	325 頭 （R10）		各市町畜産担当課調べ	

事業名	4 米沢市食肉センターの管理運営				SDGs		
関係市町	全市町						
事業内容	米沢牛の適切な流通を確保するため、置賜地域の畜産物流通をけん引するとともに米沢牛の流通拠点として重要な役割を担う「米沢市食肉センター」の維持を行う。 ○食肉センターの管理運営（R6～R10）						
連携効果	高度な衛生管理に基づく食肉流通の実現、米沢牛の流通の拡大への寄与が期待される。						
事業費見込 （千円）	R6	R7	R8	R9	R10	合計	
	150,244	135,321	150,244	150,244	150,244	736,297	
国県補助等							
役割分担	・米沢市は、当該施設の管理運営を担う。 ・各市町は、各事業者の利用促進を図る。						
成果指標 （KPI）	指標	基準値		目標値		備考	
	と畜頭数	3,558 頭 （R4）		3,600 頭 （R10）		米沢市農政課調べ	

事業名	5 米沢牛のブランド向上に向けてのPR推進					SDGs		
関係市町	全市町							
事業内容	地理的表示（GI）保護制度に登録された米沢牛の販路を拡大するため、米沢牛銘柄推進協議会と連携した国内外へのPR活動を推進する。また、各市町が実施する米沢牛PRイベントの継続及び連携を図る。 ○PR・販路拡大事業（R6～R10）							
連携効果	ブランド牛としてのPR効果増大や販路拡大、他ブランド牛との差別化などが期待される。							
事業費見込 （千円）	R6	R7	R8	R9	R10	合計		
	6,576	5,978	6,576	6,576	6,576	32,282		
国県補助等	新しい地方経済・生活環境創生交付金							
役割分担	・各市町は、米沢牛銘柄推進協議会及び関係機関と連携した広域的なPRイベントを検討・実施するとともに、それぞれの特色を活かしたイベントを開催する。							
成果指標 （KPI）	指標		基準値		目標値		備考	
	各市町PRイベントの実施件数		7 （R4）		基準値を維持 （R10）		各市町畜産担当課調べ	

事業名	6 米沢牛生産者への支援事業				SDGs		
関係市町	米沢市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、飯豊町						
事業内容	地理的表示（G I）保護制度への登録を契機とする需要増加に対応するため、増頭体制の確立及び肥育農家等の経営安定のため、市・町有牛の貸付等を行う。 ○市・町有牛の貸付（R6～R10） ○肥育素牛導入補助（R6～R10）						
連携効果	米沢牛の増頭、肥育農家等の経営安定が期待される。						
事業費見込 （千円）	R6	R7	R8	R9	R10	合計	
	118,200	118,200	118,200	118,200	118,200	591,000	
国県補助等							
役割分担	・米沢市、南陽市、高畠町、川西町、小国町及び飯豊町は、関係団体と連携し、米沢牛生産者への支援事業を行う。						
成果指標 （KPI）	指標		基準値		目標値		備考
	貸付牛頭数		246 頭 （R4）		292 頭 （R10）		
各市町畜産担当課調べ							

ウ 商工業の活性化と雇用促進

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域内の経済の活性化を図るため、商工会議所、商工会等の関係団体と連携し、商工業の活性化及び雇用促進のための取組を行う。
-------	---

【具体的取組】

事業名	1 産業人材の確保・定着の促進					SDGs	
関係市町	全市町						
事業内容	圏域内の「労働力人口の不足」に対応するため、企業、学校、商工会議所・商工会、ハローワーク及び県などと連携し、若年労働力の安定確保やU I J ターンの促進等、産業人材の確保及び定着に係る事業を行う。 ○人材確保事業の実施（R6～R10）						
連携効果	人材確保・定着の取組を実施することで、圏域内における労働力人口の確保が期待される。						
事業費見込 （千円）	R6	R7	R8	R9	R10	合計	
	1,499	1,329	1,249	1,249	1,249	6,575	
国県補助等							
役割分担	・各市町は、置賜地区雇用対策協議会（構成市町：米沢市、南陽市、高畠町、川西町）、西置賜雇用対策協議会（構成市町：長井市、小国町、白鷹町、飯豊町）を中心として県及び関係団体と連携し、人材確保・定着促進に向けた事業を実施する。						
成果指標 （KPI）	指標	基準値		目標値		備考	
	新規高等学校卒業求職者の県内事業所への就職率	75.1% (R4)		81.0% (R10)		ハローワーク米沢	
		77.4% (R4)		78.0% (R10)		ハローワーク長井	

エ 広域観光の推進

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域内の豊かな自然、歴史、文化等の資源を活かした広域観光の推進を図るため、観光資源の新たな発掘、魅力の向上、圏域内外への情報発信等に向けた取組を行う。
-------	---

【具体的取組】

事業名	1 道の駅米沢を中心とした広域観光の推進				SDGs	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
関係市町	全市町					
事業内容	「道の駅米沢」を中心に、圏域内の道の駅や各観光案内所等が連携し、地域情報の発信や産業振興などの地域連携機能を高めることにより、交流人口の拡大や地域産業力の強化、雇用の創出を図る。また、置賜圏域全体で質の高い旅行を提供できる仕組みづくりや、インバウンド誘致に係る事業等を行う。 ○置賜地域の観光情報の発信（R6～R10） ○おきたま観光コンシェルジュ事業の実施（R6～R10） ○圏域内の道の駅等との連携（R6～R10） ○データの収集・分析等のマーケティング事業の実施（R6～R10） ○アプリの活用による道の駅米沢を拠点とする周遊事業の実施（R6～R10） ○インバウンド誘致に係る事業の実施（R6～R10） ○施設整備及び改修の実施（R7～R10）					
連携効果	圏域内への交流人口の拡大、地域産業力の強化、雇用の創出などが期待される。					
事業費見込 （千円）	R6	R7	R8	R9	R10	合計
	20,715	75,253	50,115	50,115	41,515	237,713
国県補助等	デジタル田園都市国家構想交付金、地域活性化事業債					
役割分担	・米沢市は「道の駅米沢」を拠点に、各市町の様々な情報の発信、旅行商品の造成、産業振興連携企画、「道の駅米沢」内での連携イベント企画、圏域内の道の駅等が連携したイベント企画、施設の整備及び改修などのほか、事務局機能を担う。 ・各市町は、「道の駅米沢」を拠点とした様々な企画への参画、各市町の道の駅等での連携企画の実施、独自事業等の連携などの役割を担い、観光情報提供や観光コンテンツの掘り起こしや磨き上げ等、受け入れ態勢の強化を行う。					
成果指標 (KPI)	指標	基準値		目標値		備考
	置賜地域観光入込客数	623 万人 (R3)		847 万人 (R10)		山形県観光者数調査
	置賜地域外国人旅行者数	1,111 人 (R3)		60,000 人 (R10)		外国人旅行者県内受入実績調査



道の駅米沢

事業名	2 山形おきたま観光協議会による観光プロモーションの実施				SDGs	
関係市町	全市町					
事業内容	置賜地域の魅力や観光情報を首都圏等圏域外に広く発信するため、山形県と3市5町で構成する山形おきたま観光協議会により、置賜圏域のプロモーションを行う。 ○協議会によるプロモーション事業の実施（R6～R10）					
連携効果	圏域内への交流人口の拡大が期待される。					
事業費見込 （千円）	R6	R7	R8	R9	R10	合計
	2,440	2,440	2,440	2,440	2,440	12,200
国県補助等	山形県市町村振興共同事業等助成金					
役割分担	・各市町は、山形おきたま観光協議会の費用を負担するとともに、事業の実施及び情報提供を行う。 ・山形おきたま観光協議会は、各市町と連携し、置賜圏域のプロモーションを行う。					
成果指標 （KPI）	指標	基準値		目標値		備考
	置賜地域観光入込客数	623 万人 （R3）		847 万人 （R10）		山形県観光者数調査

事業名	3 地域連携DMOの運営				SDGs	
関係市町	全市町					
事業内容	観光振興による交流人口の拡大のため、長井市、南陽市、白鷹町、飯豊町、小国町で行っているやまがたアルカディア観光局（地域DMO）の仕組みを広域化し、置賜圏域として取り組むとともに、米沢市に設立されたプラットヨネザワ株式会社（地域DMO）においても、観光マネジメントや観光DXを推進し、やまがたアルカディア観光局と連携した広域観光を推進する。 また、広報・販売・問い合わせ対応をDMO窓口で一本化して実施することで、観光客へのサービスの向上に努める。 ○地域連携DMOの運営（R6～R10） ○事業の実施（R6～R10）					
連携効果	地域連携で基本戦略を立案する体制の構築や、地域での稼ぐ力のシステム化、自らの企画による地域内消費の拡大などが期待される。					
事業費見込（千円）	R6	R7	R8	R9	R10	合計
	203,021	146,095	198,675	12,223	10,173	570,187
国県補助等	デジタル田園都市国家構想交付金、新しい地方経済・生活環境創生交付金					
役割分担	・米沢市は、地域連携DMOの運営を支援する。 ・長井市は、南陽市、白鷹町、飯豊町、小国町と連携し、地域連携DMOの運営を支援する。 ・各市町は、地域連携DMO及び関係機関と連携し、情報提供及び各種事業に参画する。					
成果指標（KPI）	指標	基準値		目標値		備考
	置賜地域観光入込客数	623 万人（R3）		847 万人（R10）		山形県観光者数調査

事業名	4 観光施設の整備				SDGs	9 産業と地域革新の 基盤をつくろう
関係市町	長井市					
事業内容	自然、景観、文化等の多様な地域資源の活用を通じ、圏域内の都市機能・生活機能を確保するために必要な施設等の整備を行う。 長井市において、まなびと交流がコンセプトの施設として開館した旧長井小学校第一校舎は、国登録有形文化財でもあり、また道の駅川のみなと長井に近接しているため、まちなかの観光スポットのひとつとなっているが、駐車場設備がなく集客を阻害する要因となっていることから、施設の魅力向上のため必要な整備を行う。 コンベンションや宿泊、健康増進、オフィス等の機能を持つ複合施設「タス」は、圏域における産業振興や観光の拠点としての機能が期待されるが、建設から30年以上が経過し、老朽化による施設機能の課題等から段階的に改修を進めてきた。引き続き、地域連携DMOなどとの連携強化によって産業振興機能の強化及び施設運営の安定化を図るために必要な改修を行う。 ○旧長井小学校第一校舎の駐車場設備整備（R6～R10） ○タスの一部改修（R6～R10）					
連携効果	圏域内への観光・交流人口の拡大が期待される。					
事業費見込 (千円)	R6	R7	R8	R9	R10	合計
	300,000	100,000	100,000	0	0	500,000
国県補助等	地域活性化事業債、山形県市町村振興資金					
役割分担	・長井市は旧長井小学校第一校舎の駐車場設備整備を行う。 ・長井市がタスの一部改修を行う。					
成果指標 (KPI)	指標	基準値	目標値	備考		
	旧長井小学校第一校舎の来館者数	60,027 人 (R4)	66,000 人 (R10)	長井市調べ		
	タス内商業施設の集客者数	127,097 人 (R4)	136,697 人 (R10)			



旧長井小学校第一校舎

⑤ 環境

ア 環境の保全

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域内の豊かな自然を守り、環境を維持するため、環境保全及び循環型社会構築に向けた取組を行う。
-------	--

【具体的取組】

事業名	1 ゼロカーボンの実現に向けた環境保全及び循環型社会構築事業並びに再生可能エネルギーの利用促進及び地産地消の取組				SDGs		
関係市町	全市町						
事業内容	2050 年までに二酸化炭素等の温室効果ガスの排出量実質ゼロを目指して、省エネの徹底と再エネの導入を推進する。 また、圏域内の豊かな自然を守り、環境を維持するため、ごみの減量化・再資源化・水平リサイクル等、循環型社会構築に資する事業を行う。 さらに、圏域内において脱炭素社会を達成するため、県等の関係機関や地域新電力と連携し、圏域内の公共施設への再生可能エネルギーの導入及びエネルギーの地産地消を推進する。 ○ごみの減量化等に係る事業の実施（R6～R10） ○廃棄物処理施設等の維持整備（R6～R10） ○再生可能エネルギーの導入促進（R6～R10） ○事業化プロジェクトの推進（R6～R10） ○再生可能エネルギーの地産地消の検討（R6～R10）						
連携効果	圏域内の豊かな自然環境の維持と再生可能エネルギーの利用促進によるエネルギー自給率の向上が期待される。 電力の地産地消による産業の創出、雇用、経済の好循環が期待される。						
事業費見込 （千円）	R6	R7	R8	R9	R10	合計	
	76,353	318,216	174,591	222,529	102,776	894,465	
国県補助等	地域脱炭素移行・再エネ推進交付金、みどりの食料システム戦略推進交付金、バイオガス発電設備整備事業債、環境保全型農業直接支払交付金事業						
役割分担	・各市町及び置賜広域行政事務組合は、循環型社会構築に向けた事業を推進する。 ・各市町は、置賜広域行政事務組合が実施する廃棄物処理施設等の維持整備に係る費用を負担するほか、県と連携し、再生可能エネルギーの導入促進に向けた事業を推進する。						
成果指標 （KPI）	指標	基準値		目標値		備考	
	資源化率	12.4% (R4)		20.0% (R10)		置賜広域行政事務組合調べ（置広ごみ処理基本計画目標値）	
	二酸化炭素排出量	2,124 千 t-CO2 (H25)		1,143 千 t-CO2 (R12)		各市町エネルギー担当課調べ	

事業名	2 ゼロカーボンの実現に向けた森林・里山保全対策の検討				SDGs	   	
関係市町	全市町						
事業内容	圏域の森林・里山を保全するため、森林環境譲与税の活用などによる森林整備、木材供給体制の整備及び木材利用の促進等、森林・里山の総合的な対策について検討する。 ○森林・里山保全対策の検討（R6～R10）						
連携効果	圏域内の豊かな自然環境の維持が期待される。						
事業費見込 （千円）	R6	R7	R8	R9	R10	合計	
	0	0	0	0	0	0	
国県補助等							
役割分担	・各市町は、森林里山の保全等に係る検討を行う。						
成果指標 （KPI）	指標	基準値		目標値		備考	
	荒廃森林の整備						

⑥ 水道

ア 圏域内水道の広域連携等の検討

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域での必要な水道水の安定供給及び機能強化を図るため、水道事業の広域連携等について検討を行う。
-------	---

【具体的取組】

事業名	1 圏域内水道の広域化の検討				SDGs	
関係市町	全市町					
事業内容	圏域内の各市町水道事業経営の基盤強化に向け、県と連携のもと、連携可能な施設の再編整備、ソフト連携等を継続して検討する。 ○広域化の可能性に係る検討（R6～R10）					
連携効果	圏域内住民の生活に必要な水の安定的な供給が図られる。					
事業費見込 （千円）	R6	R7	R8	R9	R10	合計
	0	0	0	0	0	0
国県補助等						
役割分担	・各市町は、実現可能な広域連携について、県と連携し検討を行う。					
成果指標 （KPI）	指標	基準値		目標値		備考
	ソフト連携等の検討					

⑦ 消防・防災

ア 消防・防災体制の強化

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域内の住民の安全・安心な生活を守るため、消防・防災体制の強化に向けた取組を行う。
-------	---

【具体的取組】

事業名	1 消防・防災体制の強化					SDGs	
関係市町	全市町						
事業内容	圏域内における消防・防災体制を強化・維持するため、消防車両や通信無線設備の更新及び消防水利等の整備を適切に行うほか、災害に対応するための備蓄や資機材等の計画的整備を行い、加えて、消防士等の養成・教育を継続的に行う。 また、置賜広域行政事務組合においては、消防 10 か年整備計画に基づき、資機材等の維持・更新と併せ、老朽化した消防本部等の庁舎整備について検討を進める。さらに、置賜広域行政事務組合と西置賜行政組合による消防通信指令業務の共同運用が令和 6 年度から開始となることに伴い通信指令装置が更新となるため、活用と同時に維持管理を行う。 ○車両・通信設備等の整備・更新 (R6～R10) ○備蓄・資機材等の整備 (R6～R10) ○消防士等の養成・教育 (R6～R10)						
連携効果	消防・防災体制の整備が図られることで圏域内住民の安全・安心な生活に寄与する。						
事業費見込 (千円)	R6	R7	R8	R9	R10	合計	
	627,242	561,185	467,287	572,339	1,498,577	3,726,630	
国県補助等	消防施設整備費補助金、消防団設備整備費補助金、消防団の力向上対策事業、消防施設整備事業債、緊急防災・減災事業債、防災対策債、過疎対策事業債						
役割分担	・各市町は、備蓄や資機材の整備を計画的に行うとともに、置賜広域行政事務組合及び西置賜行政組合と連携し、必要な経費を負担する。 ・置賜広域行政事務組合及び西置賜行政組合は、必要な設備更新を行う。						
成果指標 (KPI)	指標	基準値		目標値		備考	
	車両・通信設備等の計画的な整備・更新						

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

① 交通

ア 交通ネットワーク等の維持・整備

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域内の交通ネットワークを強化し、通勤、通学等の交通手段を確保するため、交通事業者その他の関係機関と連携して、鉄道、バス等の公共交通及び道路等の交通インフラの維持・整備に向けた取組を行う。
-------	--

【具体的取組】

事業名	1 米坂線の早期全線復旧に向けた取組					SDGs	9産業と技術革新の基盤をつくろう 11住み続けられるまちづくりを
関係市町	全市町						
事業内容	令和4年8月豪雨により甚大な被害を受けた米坂線について、米坂線整備促進期成同盟会等による早期全線復旧を図るため取組を推進する。 ○要望活動の実施（R6～R10）						
連携効果	圏域内の交通手段が確保されることにより、圏域住民の利便性の確保が期待されるほか、太平洋側と日本海側を結ぶ重要な路線としての機能が確保される。						
事業費見込 （千円）	R6	R7	R8	R9	R10	合計	
	226	226	226	226	226	1,130	
国県補助等							
役割分担	・小国町は、協議会を運営し、各市町との連絡・調整を行う。 ・各市町は、米坂線の早期全線復旧に向けた取組を実施する。						
成果指標 （KPI）	指標	基準値		目標値		備考	
	要望活動の継続						

事業名	2 圏域内鉄道路線の利用促進並びに山形鉄道フラワー長井線の利用拡大及び鉄道施設等の維持管理や整備					SDGs	 
関係市町	全市町						
事業内容	圏域内鉄道路線の利便性向上や利用促進を図るため、米坂線整備促進期成同盟会、山形県奥羽・羽越新幹線整備実現同盟、置賜地域奥羽新幹線整備・米沢一福島間トンネル整備実現同盟会等の事業を推進する。 さらに、フラワー長井線の利用拡大や沿線公共交通との連携による利便性向上を図るため、フラワー長井線利用拡大協議会、やまがた鉄道沿線活性化プロジェクト推進協議会等の事業を推進する。加えて、安全・安心な地域交通を確保するため、鉄道施設の維持管理や必要に応じた整備を実施するほか、老朽化対応の検討・研究を行う。 ○各種事業の実施（R6～R10） ○利用拡大事業等の実施（R6～R10） ○鉄道施設の維持管理、駅及び駅に付随する施設の整備・改修（R6～R10）						
連携効果	圏域内の交通手段が確保されることにより、圏域住民の利便性の確保が期待される。						
事業費見込 （千円）	R6	R7	R8	R9	R10	合計	
	159,528	164,768	188,822	106,362	137,857	757,337	
国県補助等	鉄道軌道安全輸送設備等整備事業、社会資本整備総合交付金、地域活性化事業債、山形県市町村振興資金、一般補助施設整備等事業債、過疎対策事業債、山形県市町村振興共同事業等助成金						
役割分担	・米沢市、長井市、小国町は、協議会をそれぞれ運営し、各市町との連絡・調整を行う。 ・長井市、南陽市、川西町、白鷹町は、県と連携して、フラワー長井線の鉄道施設の維持管理に必要な費用を負担する。 ・各市町は、広報等による住民の鉄道路線の利用促進、県や協議会等及び山形鉄道(株)と連携したフラワー長井線の利用拡大に向けた取組、駅及び駅に付随する施設の整備等を実施する。						
成果指標 (KPI)	指標	基準値		目標値		備考	
	米坂線の鉄道沿線活性化関連施策の取組数	32 (R5)		基準値以上 (R10)		やまがた鉄道沿線活性化プロジェクト推進協議会調べ	
	フラワー長井線の鉄道沿線活性化関連施策の取組数	28 (R5)		基準値以上 (R10)			

事業名	3 路線バス等の運行、維持及び広域的な公共交通網の整備に向けた検討					SDGs	 
関係市町	全市町						
事業内容	圏域内における公共交通を維持するため、民間バス路線やコミュニティバス、デマンドタクシー等の運行に係る費用を負担するとともに、周辺施設等の整備を行う。 また、圏域における広域的な移動手段の確保と充実を図るため、デマンドタクシーやコミュニティバス等の広域的な運行について協議・検討を行う。さらに、広域利用の観点により、各市町の既存公共交通の利便性を向上させ、相互利用を促進するため、利用拡大策を検討する。 ○路線バス等の運行（R6～R10） ○利用拡大策の検討・実施（R6～R10）						
連携効果	圏域内の交通手段が確保されることにより、圏域住民の利便性の確保が期待される。						
事業費見込 （千円）	R6	R7	R8	R9	R10	合計	
	294,269	345,140	289,059	289,059	289,059	1,506,586	
国県補助等	山形県市町村総合交付金、地域活性化事業債、山形県市町村振興資金、過疎対策事業債、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金						
役割分担	・米沢市は、既存公共交通の利用拡大のため、各市町との連絡・調整を行う。 ・各市町は、路線バス等の運行に必要な費用を負担する。						
成果指標 （KPI）	指標	基準値		目標値		備考	
	圏域内バス等の利用者数	320,254 人 （R4）		基準値を維持 （R10）		各市町交通担当課調べ	

事業名	4 道路除雪の路線交換				SDGs	9産業と技術革新の基盤をつくろう 11住み続けられるまちづくりを
関係市町	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、飯豊町					
事業内容	冬期間における道路除雪の効率化を図るため、市町間を結ぶ道路の一部について、路線を交換して除雪を行う。 ○除雪の実施（R6～R10）					
連携効果	単独の市町で除排雪を行うよりも時間、経費の面において効率的であり、地域住民にとって冬期間における交通の安全性の確保が期待される。					
事業費見込 （千円）	R6	R7	R8	R9	R10	合計
	12,400	12,400	12,400	12,400	12,400	62,000
国県補助等						
役割分担	・米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、飯豊町は、路線交換した道路の除雪を行う。					
成果指標 （KPI）	指標	基準値		目標値		備考
	路線交換の継続					

事業名	5 圏域内における道路整備の推進				SDGs	 
関係市町	全市町					
事業内容	国道をはじめとする主要道路の整備を推進するため、置賜総合開発協議会を中心として、圏域住民の意識の醸成を図るとともに、国・県への働きかけを行う。 ○要望活動の実施（R6～R10） ○道路大会の開催（R6～R10）					
連携効果	圏域内の道路網が整備されることで、圏域内外の交流を促進させ、地域経済の活性化をもたらすとともに、圏域内住民の安全・安心の確保に寄与する。					
事業費見込 （千円）	R6	R7	R8	R9	R10	合計
	1,040	1,156	1,156	1,156	1,156	5,664
国県補助等						
役割分担	・米沢市は、当該協議会を運営し、他市町との連絡・調整を行う。 ・各市町は、米沢市と連携し、住民の意識の醸成を図るとともに、国・県への働きかけを行う。					
成果指標 （KPI）	指標	基準値		目標値		備考
	要望活動の継続					

② 移住・定住・交流

ア 移住・定住・交流等の推進

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域内の人口減少等に関する課題を解決するため、圏域内への移住・定住の促進、圏域内外との交流人口の拡大等に向けた取組を行う。
-------	---

【具体的取組】

事業名	1 広域連携による移住交流促進及び地域おこし協力隊交流事業				SDGs	
関係市町	全市町					
事業内容	圏域外からの移住者の確保及び交流人口の拡大等を図るため、山形県と3市5町で構成する置賜地域移住交流推進協議会と連携し、首都圏における移住相談会（セミナー）や移住体験ツアーなどの取組を推進するとともに、置賜広域行政事務組合と連携し、地域づくりに関わる交流事業などを実施する。 また、地域おこし協力隊に採用された者の経験や「ヨソモノ」目線での新たな地域資源の発見や観光資源等の活用を図るため、隊員同士の情報交換会を開催する。 ○移住相談会等の実施（R6～R10） ○情報交換会の開催（R6～R10）					
連携効果	圏域外からの移住者の確保及び交流人口の拡大や地域おこし協力隊の定住につながることを期待される。					
事業費見込（千円）	R6	R7	R8	R9	R10	合計
	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	10,500
国県補助等						
役割分担	- 各市町は、置賜地域移住交流推進協議会、置賜広域行政事務組合とともに、置賜全体の魅力の発信に努めるとともに、担当者会議等を開催するほか、地域おこし協力隊の交流に向けた連絡調整等を行う。 - 各市町は、担当者会議等を通して、互いの市町における受入体制や現状報告等によりさらに連携を深め、地域全体で移住者受入れの強化と意識の高揚を図るほか、米沢市と連携し、交流事業を行う。					
成果指標（KPI）	指標	基準値	目標値	備考		
	広域移住相談会の実施件数	1 (R4)	基準値以上 (R10)	米沢市地域振興課調べ		

事業名	2 婚活支援事業				SDGs	
関係市町	全市町					
事業内容	圏域内における結婚を望む人や興味のある人の成婚を促進するため、出逢いの機会づくりや経済支援に係る事業を行う。 ○各市町単独事業の実施（R6～R10） ○広域連携事業の実施（R6～R10）					
連携効果	人口減少の歯止めの一環としての効果が期待される。					
事業費見込（千円）	R6	R7	R8	R9	R10	合計
	36,111	37,761	36,511	36,711	36,911	184,005
国県補助等	結婚新生活支援事業費国庫補助金、山形県地域少子化対策重点推進交付金					
役割分担	・各市町は、関係する機関と連携し、婚活活動支援を行う。					
成果指標（KPI）	指標	基準値	目標値	備考		
	広域連携事業の実施数	1 (R4)	基準値以上 (R10)	米沢市地域振興課調べ		

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

① 職員等の交流

ア 職員研修及び交流

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域内の市町職員等の資質向上及び政策形成能力の向上を図るため、圏域のマネジメント能力の強化に向けた合同研修の実施、外部専門家の招へい等の取組を行う。
-------	--

【具体的取組】

事業名	1 職員研修事業					SDGs	
関係市町	全市町						
事業内容	圏域内の市町職員等の資質向上を図るため、置賜地域市町職員研修協議会の事業として3市5町の職員が受講している「新規採用職員研修」や「法制執務研修」を共同で実施するほか、必要に応じて各市町の共通する行政課題解決のための研修や専門業務研修について開催を検討する。 ○置賜地域市町職員研修協議会事業の実施（R6～R10）						
連携効果	連携することにより、より幅広い知識と戦略性に富んだ研修を開催することができるようになるほか、市町間の交流が深まり、情報交換の場となることが期待される。						
事業費見込 （千円）	R6	R7	R8	R9	R10	合計	
	405	461	461	461	461	2,249	
国県補助等							
役割分担	・米沢市は、研修に係る検討組織の事務局を担い、事業を実施する。 ・各市町は、合同で研修の企画・運営を行う。						
成果指標 （KPI）	指標	基準値		目標値		備考	
	職員研修事業の実施件数	3 （R4）		基準値を維持 （R10）		米沢市総務課調べ	

事業名	2 地方創生に向けた人材育成事業				SDGs	
関係市町	全市町					
事業内容	圏域内の資源や特性を活かし、新たな付加価値を生み出す地方創生の取組や広域連携を進めるため、置賜広域行政事務組合が一般財団法人地域活性化センターと締結した「地方創生に向けた人材育成に関する連携協定」に基づき、圏域内の市町職員等を対象とした人材育成事業を行う。 ○置賜広域行政事務組合広域連携事業の実施（R6～R10）					 広域連携研修
連携効果	地方創生を実現できる地域づくりの中核的人材の育成が期待される。					
事業費見込 （千円）	R6	R7	R8	R9	R10	合計
	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	28,000
国県補助等	山形県市町村振興共同事業等助成金					
役割分担	・各市町は、置賜広域行政事務組合と広域連携事業を検討するとともに、事業に参加する。 ・置賜広域行政事務組合は、広域連携事業を行う。					
成果指標 （KPI）	指標	基準値	目標値	備考		
	広域連携事業の実施件数	5 (R4)	基準値以上 (R10)	置賜広域行政事務組合調べ		

事業名	3 行政D Xの推進				SDGs	
関係市町	全市町					
事業内容	急速に進むデジタル化、そして国のデジタル田園都市国家構想を受け、共同で研修等を実施し、行政D Xを進める。さらに、技術革新が進む中、様々な情報等を圏域内で共有し、その技術を生かすことでオープンデータの活用等を推進していく。 ○自治体向けビジネスチャットの広域利用に向けた試験運用（R6～R10） ○各市町のオープンデータの整備と利活用（R6～R10） ○D X研修の実施（R6～R10） ○取組の情報共有・検討（R6～R10）					
連携効果	デジタル人材の育成やデジタル化による圏域住民の利便性の向上が期待される。					
事業費見込 （千円）	R6	R7	R8	R9	R10	合計
	11,880	12,121	12,121	12,121	12,121	60,364
国県補助等						
役割分担	・各市町は、置賜広域行政事務組合とともに行政D Xの推進に向けた取組を実施する。					
成果指標 （KPI）	指標	基準値	目標値	備考		
	連携取組事業数	0 (R4)	5 (R10)	米沢市政策企画課調べ		